



☆進路講演会「親なきあと」9/19に実施☆

「親なきあと」について、群馬県民主医療機関連合会所属の町田茂様より御講演をいただきました。

親なきあと、残された兄弟姉妹が抱える課題等について共有し、親あるうちにどのような準備が必要なのかを考えるきっかけとなりました。少し重く感じられる部分もありましたが、「親は、親である前に自らの人生の主人公。親がまず自分らしく生きることが大切。何かのとき SOS をだせるつながりを築いてください。できるだけ前向きに、できるだけ現実的に、できるだけ具体的に、そして『なんとかなるさ』と思えるような準備を」と締め括られました。

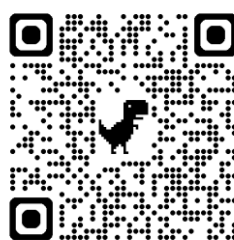


【保護者の方の感想をいくつか御紹介します】

- 講演を聞くまでは、私たちが亡くなった後、どのくらいお金がかかってどんな道を進むのだろうと漠然としていましたが、具体的な話を聞くことができて、なんとかなるかもしれないと思いました。割愛された話もすべて聞きたいくらいです。(小学部)
- きょうだいの気持ちなど、リアルな声を伺えてよかったです。(中学部)
- 今まで、先のことをあまり考えられなかったのですが、親やきょうだいのこの先の人生を考える良いきっかけになりました。なるべく子供と関わってくれる事業所や医師とのつながりを増やして子供の成長や変化を共有し、見守っていかれたと思います。(高等部)
- 「親なきあと」について、本当に心配なことだらけです。子供が高校生なので、先のことは心配なことだらけですが、周りの人達に支えてもらいながら、子供の将来が困らないようにしていきたいと思っています。(高等部)

「親心の記録 支援者の方々へ」(冊子・記録シート)の御紹介

日本相続知財センターより冊子(右画像)が出ています。お子様の成長や個性、将来について書き留めることができるもので「見える化」することができるシートです。支援者が、お子様に寄り添ったサポートを行うための貴重な手掛かりとなります。無料でダウンロードできますので、まずはシートを御覧になってはみてはいかがでしょうか。そして、お時間のあるときに記録していただければ幸いです。



↑活用術等紹介等

↑無料ダウンロード

